

庄司紗矢香が  
満を持して取り組むショーン。  
盟友と共に贈るフランス音楽の極み。

Sayaka Shoji (Violin) with Quatuor Modigliani and Benjamin Grosvenor (Piano)

# 庄司紗矢香 (ヴァイオリン)

## モディリアーニ 弦楽四重奏団

## ベンジャミン・ グローヴナー (ピアノ)

# フランスの風

武満徹: 妖精の距離

T. Takemitsu: Distance de Fée

C.ドビュッシー: ヴァイオリン・ソナタ

C. Debussy: Violin Sonata

M.ラヴェル: 弦楽四重奏曲 へ長調

M. Ravel: String Quartet in F major

E.ショーン: ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のための協奏曲 ニ長調 Op.21

E. Chausson: Concerto for Violin, Piano and String Quartet in D major Op.21

9/25 (月) 19:00開演  
(18:20開場/21:00終演予定)

サントリーホール 東京外ロ「溜池山王駅」13番出口徒歩10分  
東京外ロ「六本木一丁目駅」3番出口徒歩5分

7:00p.m., Monday, September 25, 2023 at Suntory Hall

SY8,500 AY7,500 BY6,500 CY5,500 学生¥3,000 (A席相当)

※料金には消費税が含まれております。※特別割引につきましては裏面をご覧ください。

※先行販売で満席となった席種は、以降販売されない場合がございます。

5月13日(土)10:00前売開始 ジャパン・アーツぴあオンラインチケット: 5月6日(土)

主催: 公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 マネジメント: ジャパン・アーツ 協力: ユニバーサル ミュージック / ノヴェレッテ

<お申込み>

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

[www.japanarts.co.jp](http://www.japanarts.co.jp)

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017  
[suntory.jp/HALL](http://suntory.jp/HALL)

チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) [Pコード: 241-571]

イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)

ローソンチケット [l-tike.com](http://l-tike.com) [Lコード: 32324]

# 深化を止めない音楽家・庄司が、さらなる新境地で魅せる！

音楽評論家 柴田克彦

庄司紗矢香の深化が止まらない。昨年末彼女は、ガット弦とクラシック弓を用いた古典派音楽で、フォルテピアノを弾くジャンルカ・カシオーリと共演し、緊迫感漂う中に多様なニュアンスを込めながら、作品の深奥を表出した。それは庄司が、「生きた音楽」を追求し続ける稀有の演奏家であることの証しでもあった。

そして今回新たに聴かせるのはフランス物、しかも室内楽である。いずれもこれまで多く披露してはいないジャンルだ。共演者は、神童と呼ばれたイギリスのスター・ピアニスト、ベンジャミン・グローヴナーと、結成20周年を迎えたフランスのトップ・カルテット、モディリアーニ弦楽四重奏団。彼らとのコラボだけでも胸の高まりを禁じ得ない。

プログラムがまた凝っている。ドビュッシーの延長線上に位置する武満徹の「妖精の距離」で始まり、次に当のドビュッシーのヴァイオリン・ソナタが来る。透明で清澄な両曲を、クリアでシャープなグローヴナーと共にどう表現するか？がまずは楽しみだ。ここで、モディリアーニSQがラヴェルの弦楽四重奏曲を奏でる。むろん彼らの掌中の一作。2012年録音のCDでも香気と生気に富んだ妙演を展開しており、10年強の進化を経たライブに熱視線が注がれる。後半は全員で、ショーソンのヴァイオリン、ピアノ、弦楽四重奏のための協奏曲。これは大注目と言っていい。同曲は、二重協奏曲、原題「コンセル」が意味する器楽合奏曲、ピアノ六重奏曲など多様な性格を持った、名作の誉れ高い逸品だが、変則編成ゆえに一流どころの生演奏は貴重。高度な技量を誇るこのメンバーならば、2度と味わえない新鮮な名演が期待される。加えて各曲の作曲年は順に、1951、1917、1903、1891年。つまり武満を起点に近代フランスの室内楽史を遡っていく構成がなされた、意義深い内容でもある。

共演者の音楽性を自らのプラスαにしてきた庄司が魅せる新境地。彼女のさらなる深化を体感したい。



庄司 紗矢香 (ヴァイオリン)  
Sayaka Shoji, Violin

「絶大なスタミナと何事にもひるまない精神、希有な音楽家」とグラモフォン誌に評された庄司紗矢香は、ユーリ・テムルカーノフ、ズーピン・メータ、ジャンドレア・ノセダ、マリス・ヤンソンス、パーヴォ・ヤルヴィなどの指揮者や、サントペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、マリンスキー劇場管弦楽団、NHK交響楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団といった世界を代表するオーケストラと共演を重ねている。近年にはヴィンゲル・オラフソンやジャンルカ・カシオーリとのリサイタルツアー、ヴラデーミール・アシュケナージ指揮フィルハーモニア管弦楽団との英国ツアー、エサ・ベッカ・サロネン指揮フィルハーモニア管とのツアー、ユーリ・テムルカーノフ指揮サントペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団などと共演している。2021年には、ヴァシリー・ペトレンコ指揮ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団とBBCプロムス、プロンサム音楽祭にクレーヴランド管弦楽団とデビューした。録音では、2022年にはジャンルカ・カシオーリとの新しいアルバム「モーツァルトヴァイオリン・ソナタ集」がリリースされた。1999年にバガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで最年少および日本人として初めて優勝。2010年芸術選奨新人賞、2016年毎日芸術賞を受賞。使用楽器は上野製菓株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス「レカミエ (Recamier)」。

## モディリアーニ弦楽四重奏団 Quatuor Modigliani

アムリ・コエイター (ヴァイオリン) Amaury Coeytaux, Violin  
ロイック・リョー (ヴァイオリン) Loic Rio, Violin  
ローラン・マルフェング (ヴィオラ) Laurent Marfaing, Viola  
フランソワ・キエフェル (チェロ) François Kieffer, Cello

パリを拠点に活動。2023年に創設20周年を迎えた。世界の名だたるホールや最高峰の室内楽シリーズに定期的に招かれている。主要な四重奏曲はもとより、2022年から同年のシューベルト生誕225年に焦点を当てたプログラムを展開。結成記念の今シーズンもハンブルク国際音楽祭でチクルスを行うなど、引き続きこのテーマに取り組む。またJ-G.ケラスやS.ヨルム、A.グロスと共演し、ほかにもJ.F.スーパールジェから贈られた記念の新作をヨーロッパ各地で演奏する。録音も活発で、ミラレ・レーベルからこれまで12枚のCDをリリース、数々の賞を受賞している。2020年にはシューベルトの弦楽四重奏曲全15曲、そして同年にリリースしたS.マイヤー、B.シュナイダー、D.イェンセンと共演した『シューベルト:八重奏曲』は国際的に高い評価を得た。



## ベンジャミン・グローヴナー (ピアノ) Benjamin Grosvenor, Piano

グローヴナーは、高度なヴィルトゥオジティ、深い楽曲理解による目覚ましい演奏によって国際的な注目を集めている。近來の英国では最も重要なピアニストであり、欧米ではスター・ピアニストとしての地位を確立している。英国内の主要オーケストラはもとより、シヤイー、ナガノ、ロト、サロネン、スラットキン、エメリヤニチェフら著名な指揮者のもと、ボストン響、シカゴ響、フランス国立管などと共演。リサイタルもウィグモアホールなどロンドンの主要ホールのほか、パリのシャンゼリゼ劇場、NYのカーネギーホールなどで定期的に演奏しているほか、ワルシャワの「ショパンとそのヨーロッパ」音楽祭などにも出演。室内楽にも熱心で、T.ツィンマーマン、リダウトらと定期的に共演している。2020/21年シーズンにはラジオ・フランスでのアーティスト・イン・レジデンスを務めた。録音では2011年にデッカ・クラシックスと契約、英国の音楽家としては史上最年少、英国のピアニストとしては約60年ぶりの契約となった。ショパンのピアノ協奏曲を取録したアルバムはグラモフォン賞とディアパゾン金賞を受賞。リストのソナタを中心とした最新アルバムはシヨク賞を受賞するなど各誌で絶賛されている。



### <2023年日本公演全国スケジュール>

- 9/18 (月・祝) 直島ホール (主催) NPO法人新世創建 (予定) ※
  - 9/20 (水) 神奈川県立音楽堂 (問) チケットかながわ 0570-015-415 ※
  - 9/21 (木) 住友生命いずみホール (問) いずみホールチケットセンター 06-6944-1188
  - 9/23 (土・祝) 水戸芸術館 (問) 水戸芸術館チケット予約センター 029-231-8000
  - 9月中旬 豊岡演劇祭2023 (問) 豊岡演劇祭実行委員会事務局 (豊岡市 観光政策課内) 0796-21-9016 (詳細は6月中旬発表) ※
- ※平田オリザ 作・演出による演劇付 (神奈川公演は曲目が一部異なります)

### 特別割引チケットのお知らせ ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターで受付

- ◎シニア・チケット: 65歳以上の方は5¥7,700・4¥6,800にてお求めいただけます。
- ◎学生券: 5/13 (土) 一般発売より受付を開始いたします。社会人を除く公演当日25歳までの学生対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。)
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付。)

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください。〉①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染症状況を見極めて慎重に判断させていただきます。



## 探求の旅を経て表情豊かに描く、庄司&カシオーリの新境地。 モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ集 VOL.1 庄司紗矢香/ジャンルカ・カシオーリ

NOW ON SALE

【収録曲】  
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791)  
ヴァイオリン・ソナタ 第28番 短調 K.304(300c): 1. 第1楽章: Allegro / 2. 第2楽章: Tempo di minuetto  
ヴァイオリン・ソナタ 第35番 長調 K.379(373a): 3. 第1楽章: Adagio-Allegro / 4. 第2楽章: Tema con variazioni: Tema-Var. I/V-Tema  
ヴァイオリン・ソナタ 第42番 長調 K.526: 5. 第1楽章: Allegro molto / 6. 第2楽章: Andante / 7. 第3楽章: Presto  
庄司紗矢香 (ヴァイオリン)、ジャンルカ・カシオーリ (フォルテピアノ) 録音: 2022年5月 モンドヴィ

【初回限定盤 (SA-CD Hybrid)】 UCCG-9213 ¥4,730 (税込) 【通常盤 (UHQCD)】 UCCG-45064 ¥3,300 (税込)

発売: ユニバーサル ミュージック

